

ひょうご・神戸から世界へ オープンイノベーションの 発信



神戸大学 理事・副学長 河 端 俊 典
産官学連携本部 本部長

巻頭言

神戸大学は開学以来の「学理と実際の調和」の伝統を発展させ、「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点をめざして」をビジョンとして掲げ、真理を探究する基礎科学研究から、地域社会と共創する応用科学研究まで一元的な推進・連携により、新たな知と人を創り社会に貢献する、異分野共創研究教育の世界的な拠点形成をめざしています。『異分野共創』の言葉が示すように、分野や組織の壁を越えてオープンイノベーションを実現していくことは神戸大学にとっても大きな目標となっています。

神戸大学では文部科学省の「オープンイノベーション機構の整備事業」に採択されたことを契機として、本学ビジョンの実現の方策の1つとしての産官学連携によるオープンイノベーション活動をさらに加速させています。神戸大学産官学連携本部と神戸大学の子会社である株式会社神戸大学イノベーションは、このオープンイノベーションを推進する中心組織です。産官学融合の場となるプラットフォームとして、企業・団体視点での課題設定をして解決していく力、大学の研究に関する深い理解力、多くの関係者をつなげる共創する力を有した専門家を配置し、共創の場を創出することで、課題解決型イノベーション創出に貢献しています。

具体的には、①さまざまな共通の課題を持つ企業等とプロジェクトの開始段階から連携し、最適

な出口戦略を描き、②各研究領域の特徴を踏まえて適切なサポート体制を構築し、プロジェクトを成功に導きます。さらに、③傘下のプロジェクトに関わる人事・評価・予算の責任および権限を集出し、企業の実要求水準を満たすマネジメント体制を実現し、④産官学連携に関連する大学側の提案力向上を図ることで、イノベーション創出を後押しして、⑤「多様性を持つ場」から価値を生み出す共創の場を構築することに取り組んでいます。

また、活力のあるスタートアップは、イノベーションの大きな原動力になります。神戸大学は、兵庫県と神戸市が主導する「ひょうご神戸スタートアップエコシステムコンソーシアム」の中核機関として、自治体、地域企業、投資機関、起業家、研究者、学生が集うオープンイノベーションの機能を果たしています。神戸大学発のベンチャー企業はこれまでに60社を超え、さらに、国立大学では全国初となる100%民間資本によるベンチャーキャピタルである株式会社神戸大学キャピタルを設立して、学生教育から出資まで一貫したスタートアップ育成に取り組んでいます。

神戸大学は、皆さまのご支援とご協力を頂戴しながら、オープンイノベーションにより、教育研究を社会と協働して推進し、先端的技術の開発と社会実装を促進することで、社会の発展に貢献してまいります。